

# OT 協会制度対策部

## 令和 6 年度診療報酬改定説明会

令和 6 年 3 月 19 日（火）に令和 6 年度診療報酬改定説明会が WEB 開催されました。

### ■第 1 部：令和 6 年度診療報酬改定の概要について

【講師】厚生労働省保険局医療課 松木田 瞭 氏

今回の診療報酬改定の基本方針として

- ▶物価高騰・賃金上昇、経営の状況、人材確保の必要性、患者負担・保険料負担の影響を踏まえた対応
- ▶全世代型社会保障の実現や、医療・介護・障害福祉サービスの連携強化、新興感染症等への対応など医療を取り巻く課題への対応
- ▶医療 DX やイノベーションの推進等による質の高い医療の実現
- ▶社会保障制度の安定性・持続可能性の確保、経済・財政との調和

以上の 4 つの柱が示され、全体の方向性や急性期から在宅に至るまでのリハビリテーション職種が関わる部分を中心に解説されました。

また、質疑応答では、今回の改訂においてリハビリテーション・栄養管理及び口腔管理の連携・推進や医療と介護の連携強化がポイントとなっており、それに対する質疑が多く出ておりました。

### ■第 2 部：診療報酬改定における OT 協会の要望活動

【講師】日本 OT 協会制度対策部 高島千敬副部長

令和 6 年度診療報酬改定重点要望項目として

※リハビリテーション専門職の処遇改善

※急性期から生活期にわたって、リハビリテーションの視点から評価・指導できる体制の確立（医療・介護・福祉共通）

- ▶急性期医療におけるリハビリテーションの充実
- ▶診療報酬における施設外リハビリテーションの推進
- ▶適正な回復期リハビリテーションの推進・充実
- ▶生活期リハビリテーション診療体制の強化
- ▶医療と介護の連携強化
- ▶共生型サービスの推進に向けた医療・介護保険施設等における自立訓練（機能訓練）の提供の評価

以上の 6 項目が挙げられていました。

要望活動に必要な根拠資料の作成が必要であるため、実態調査や研究の推進等にご協力をお願いしたい。

（学術部の課題研究制度をご活用いただきたい）

また、来年度 4～5 月には次期改訂に向けたアンケート、9～10 月には簡易の実態調査、25 年 1～2 月にはモニター調査を予定しているため、建設的なご意見をお寄せいただきたい。

今後、改訂対応研修会（急性期リハ加算関連）の開催も検討しているとのことでした。